

1490 | メディア環境論

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、上原幸子教授、棚橋早苗講師、藪内新太講師

授業の概要と目標

メディアは、社会体制・経済状況・技術力・科学思想など、相互に関係しあった多様な要素によって成り立っている「人間生活を取り囲むひとつの環境」と考えることができる。この科目では、その「メディア環境」を自らの視点を通じて観察しながら、人間とモノ、人間と情報、さらに人間と人間の関係を考察していく。

課題の概要

○通信授業課題

課題名 『メディアの解剖』

身近なモノの中から「メディア」として捉え直す対象を1つ決め、その「メディア環境」がどのように成り立っているのかを分析し、その解剖を試みる。

制作物は [メディア解剖図鑑]。

[メディア解剖図鑑] あなたの「メディアの解剖」の過程と成果が分かりやすく、目で見ても分かるように、ビジュアル表現を中心に編集・デザインを行って冊子のかたちにとまとめた作品。

○面接授業課題

課題名 『メディアの発明』

「メディアで遊ぼう！」をキーワードに、グループ単位でフィールドワークを行いながら、「メディア環境」を多角的に考察していく。プレゼンテーションでは「新たなメディア」の提案を行う。授業での共通テーマを「水」とし、「吉祥寺周辺」を考察のフィールドとする。

授業計画

[通信授業]

教科書と学習指導書を読み、学習指導書に沿って [メディア解剖図鑑] を作成し、提出。

[面接授業]

1 日目：オリエンテーション、関係づくりワークショップなど

2 日目以降：フィールドワーク、グループ制作

4 日目：発表、講評、ふりかえり

● OLP オンラインプラス [中間] —BBS 上での中間アドバイス

Web キャンパス学生メニューの【ネットフォーラム】にて制作中の課題に対して中間アドバイスを行う。

成績評価の方法

面接授業と通信授業課題の総合評価とする。

[通信授業] 提出された作品の総合評価とする。

[面接授業] 発表とふりかえりを評価の基本とし、制作過程や出席状況も評価の対象となる。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎 I・II」または「情報システム基礎 I・II」の単位を修得していること（デザイン情報学科3年次編入学生を除く）。

[備 考] デザイン情報学科各コース3年次必修科目。

オンラインプラス（Web 上で行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。

教材等

教科書：若林直樹監修『メディア環境論』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『メディア環境論 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）